

目標達成計画

作成日: 平成22年4月16日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映 ①日々様々な働きかけを行い、ご利用者・ご家族の意見を聞き取りしている為、要望があまりにくい。	①ご利用者・ご家族とのコミュニケーションの機会の場を多く設け、ご意見・ご要望が出しやすいように配慮する。	①年2回の家族会開催前に、園に対するアンケート調査を行い、意見要望の聴取に努める。	6ヶ月毎
				②サービス計画作成時にご本人・ご家族の意見・要望を聞き取り、計画に反映させる。	随時
				③ご家族の面会時には、各職員が日頃のご本人の様子を伝え、コミュニケーションに努める。毎月のお便りを活用する。	随時
2	35	災害対策 ①年二回の防災訓練（昼間・夜間想定）は実施しているが、火災に備えたマニュアルのみになっている為、内容を検討改善する。	①災害発生時のマニュアルの内容を具体的な内容に改善し、迅速に対応できるようにする。	①災害対策委員会を設置し、具体的なマニュアルを作成する。	2ヶ月
				②スプリンクラー設備・火報器を設置した為、連絡網を変更し、迅速に行動ができるようにする。避難訓練を実施する。	2ヶ月
				③北海道のグループホーム火災の事例を元に勉強会を行う。	2ヶ月
3	34	急変や事故発生時の備え ①現在、急変や事故発生時の対応をトップダウン方式で行っているが、指示を得ずとも職員が迅速に行動できるよう検討の必要がある。	①ヒヤリ・はつどの内容を基に勉強会を行い、ケア内容に反映させる。 ②医師・看護師と連絡体制及び家族との連絡を更に迅速にできるようにする。	①個別計画作成時に、ヒヤリ・はつどの事例を検証しケア内容に反映させる。	随時
				①医師・看護師の協力を得ながら、フローチャート方式のマニュアルを作成する。	6ヶ月
4		役割、楽しみごとの支援 ①ご利用者の生活暦やADLの状態を見ながら、対応しているが、いまひとつ、個別ケアができにくい現状がある。	①個々人の利用者の個性や要望を活かした支援ができるように配慮する。	①ご家族や・ご本人とのコミュニケーションをとり、ご本人の残存能力を活用できるよう支援する。個別計画に具体的に掲げる。	随時